

本が見あたらないときは、かかりの人に聞いてね。予約もできます。新しい本は他にもあります。小初は1・2年、小中は3・4年、小上は5・6年をめやすにしてください。

『レッツもよみます』 ひこ・田中／さく

・レッツは5さい。レッツはどうさんのひぎの上で絵本を読んでもらっていた。どうしてどうさんが読んでいるのかな？字が読めるのに本を読んでもらうのはへん？ひこ・田中&ヨシタケシンスケが描く、新しい幼年童話。(3~5、小初)



『はりねずみのノート屋さん』 ななもり さちこ／さく

・あわてんぼうのうさぎのトンから花束をもらった、はりねずみのツンタは、お礼にノートを作ることに。どんなノートが合うのかを考えると…。手作りの楽しみと喜びにあふれた物語。かんたんミニノートの作り方付き。(3~5、小初)



『おばけのアッチあかちゃんはドドン!』 角野 栄子／さく

・レストランがお休みの朝早く、ドララちゃんとなぞなぞモンスターの娘・マリちゃんがアッチを訪ねてきました。マリちゃんの弟のドドンのせいでドラキュラのお城が壊れそうなので、アッチに助けてほしいと言ひ…。(小初)



『ヌラリヒョン・パパにまかせなさい! ドロロン村のなかまたち』 富安 陽子／作

・住む人が3人だけになってしまったドロロン村で住民を募集すると、人間だけでなくようかいもやってきた。そのため化野市役所からようかいに詳しい専門家に来てもらうと…。ヌラリヒョン・パパが活躍するドロロン村の物語。(小初)



『おもちゃ屋のねこ』 リンダ・ニューベリー／作

・ある日、大おじさんのおもちゃ屋にやってきたハティが見たのは、あざやかな明るい緑色の目をした、かしこそうなねこ。その日からふしぎな出来事が、大おじさんのお店で次々に起きて…。心あたたまる物語。(小中)



『りりかさんのぬいぐるみ診療所』 かの ゆうこ／作

・壊れたぬいぐるみを治療する「りりかぬいぐるみ診療所」のりりかさんの元に、雑誌編集者の美和子さんが取材に訪れた。美和子さんは、小さいころかわいがっていたねこのぬいぐるみと悲しい別れ方をしていて…。見返しに図あり。(小中)



『ぼくらは少年鑑定団!』 くすのき しげのり／作

・工事現場に埋まっていたのは本物の縄文土器だった! 鑑定を通して、そこにあるたいせつな価値に気づく物語。縄文時代がよくわかる巻末コラムと、全国にある縄文遺跡のMAP付き。(小中)



『カメレオンのレオン ないしょの五日間』 岡田 淳／作

・若葉小学校のクスノキは別の世界とつながっている。あちらの世界の住人とこちらの世界の子どもたちの間に起こる事件はカメレオンの探偵レオンにおまかせあれ。探偵になったばかりのレオンがであう3つの事件とおまけのお話。(小中)



『はんぴらり! 5 満月の夜はミステリー』 廣嶋 玲子／作

・十五夜の日。お月見を楽しむ鈴音丸たちのところへ奇妙な月の使いがおりてきて…。ごく普通の小学生・武と、「はんぴらり」と呼ばれる半人前の神さま・鈴音丸のふしぎな物語。(小中、小上)



『本おじさんのまちかど図書館』 ウマ・クリシュナズワミー／作

・ひとりの女の子が社会を動かす! インドの街で小学校に通うヤズミンの楽しみは、まちかど図書館で本を借りること。ところがこの図書館が続けられなくなり…。読書の力、選挙など、これからの時代に大切なテーマを描いた物語。(小中、小上)



『かみさまのベビーシッター 2 ライバルはあかちゃん!』
作／廣嶋 玲子

・幸介が福引で当てた卵から出てきたかみさまのボンテン。甘えんぼでわがままで世話が大変だったボンテンは、このところレベルも上がって落ち着いてきていた。でも、人間の赤ちゃんを預かることになって赤ちゃんがえりをして…。(小中、小上)



『りんごの木を植えて』 大谷 美和子／作

・「たとえあした、世界が滅亡しようとも、きょうわたしはりんごの木を植える。」このことばを教えてくれた大好きなおじいちゃんに、がんの再発が。おじいちゃんは積極的な治療は行わないと言い…。心あたたまる家族の物語。(小中、小上、中)



『七不思議神社 幽霊の待つ学校』 作／緑川 聖司

・七節小はもうすぐ卒業式。この季節に、校庭の桜の木の下で夜になると目撃される幽霊は、いったいなにを伝えたくて現れるのか? リクたちに謎を解くことができるのか? (小上)



『風の神送れよ』 熊谷 千世子

・コロナのばかやろう。早く消えてなくなっちまえ! 疫病退散の願いをこめて、ぼくらは「コトの神」を谷へ送る。さまざまな困難に立ち向かい、懸命に責任を果たそうとする子どもたちの姿を鮮やかに描く。(小上)



『十年屋 6 見習いのお時間です』 廣嶋 玲子／作

・大切なものを10年間、魔法で預かる不思議なお店「十年屋」。いま魔法街をにぎわせている話題は、あの十年屋の優秀な執事に弟子入りした使い魔がいるらしいということ! 「銭天堂」の著者がおくる、心あたたまる物語。(小上)

